

No.	カテゴリ	意見	対応	備考	
1	整備 (全体)	人がたくさん来ても、怪我や事故があっては大変なので、まずは整備する必要がある。大々的に広報するのも大切だが、それには来てもらえる環境を整える必要がある(H27-2安部委員長)	検討中	・史跡整備補助金の対象となるには、市が史跡の管理団体になる必要があるため、国土交通省六甲砂防事務所及び兵庫県西宮土木事務所と協議していく。	・補助の対象者は、史跡の土地所有者か、管理団体のみ。現在、土地所有者は、国土交通省。 ・史跡整備において、補助金の交付は必須。
2	整備 (全体)	最低限、会下山遺跡に歴史教材園が開設された頃ぐらいの状態には戻してほしい(H26-1藤川副委員長)	未	・史跡整備補助金の対象となるには、市が史跡の管理団体になる必要があるため、国土交通省六甲砂防事務所及び兵庫県西宮土木事務所と協議していく。	・補助の対象者は、史跡の土地所有者か、管理団体のみ。現在、土地所有者は、国土交通省。 ・史跡整備において、補助金の交付は必須。
3	整備 (全体)	高地性集落であることがわかるような工夫が必要(H27-2安部委員長)	未	・将来、史跡整備委員会で本意見を発信する予定	・史跡整備については、文化庁の指導の下、史跡整備委員会で計画を策定する必要がある。
4	整備 (全体)	C地区付近の樹木が大きく育ちすぎていて、展望を遮っている。剪定すべき(H27-1藤川副委員長)	未	・将来、史跡整備委員会で本意見を発信する予定	・史跡整備については、文化庁の指導の下、史跡整備委員会で計画を策定する必要がある。
5	整備 (登山道)	登山道の整備がなぜ簡単にできないのか(H26-1藤川副委員長)	未	土地所有者が国土交通省であるため、国の許可が必要である。また、文化財保護法と砂防法の規制があるため、協議が容易でない。	
6	整備 (登山道)	登山道が狭く、すべりやすいため、団体歩行や雨の時に危険である(H27-1仲谷委員)	未	・将来、史跡整備委員会で本意見を発信する予定	・史跡整備については、文化庁の指導の下、史跡整備委員会で計画を策定する必要がある。
7	整備 (登山道)	登山道に手すりを増やすべきでは(H27-1仲谷委員)	未	・将来、史跡整備委員会で本意見を発信する予定	・史跡整備については、文化庁の指導の下、史跡整備委員会で計画を策定する必要がある。
8	整備 (登山道)	登山道が鬱蒼としているため、暗く、夕方などは危険である(H27-1仲谷委員)	未	・将来、史跡整備委員会で本意見を発信する予定	・史跡整備については、文化庁の指導の下、史跡整備委員会で計画を策定する必要がある。
9	整備 (遺構等)	会下山遺跡の入り口に遺跡のパンフレットを置けないか(H26-1仲谷委員)	済	・H28.12.19設置	
10	整備 (遺構等)	復元高床倉庫に影響がある大木は伐採する必要があるのでは(H27-1藤川副委員長)	済	・H27.11国土交通省六甲砂防事務所に協力していただき、ナラ枯樹木伐採の際に、復元高床倉庫上の大枝を伐採	
11	整備 (遺構等)	触覚模型の傷みがひどく、抜本的につくり変える必要があるのでは(H27-1仲谷委員)	未	・将来、史跡整備委員会で本意見を発信する予定	・史跡整備については、文化庁の指導の下、史跡整備委員会で計画を策定する必要がある。
12	整備 (遺構等)	住居跡がわかるような改善が必要(H27-2安部委員長)	未	・将来、史跡整備委員会で本意見を発信する予定	・史跡整備については、文化庁の指導の下、史跡整備委員会で計画を策定する必要がある。
13	整備 (遺構等)	斜面にある遺構は上から土砂が流れてきており、J地区などは昔の面影がない(H27-2藤川副委員長)	未	・将来、史跡整備委員会で本意見を発信する予定	・史跡整備については、文化庁の指導の下、史跡整備委員会で計画を策定する必要がある。
14	整備 (遺構等)	尾根上の遺構は放っておいたら土砂が流出して消滅する恐れがある(H27-2藤川副委員長)	未	・将来、史跡整備委員会で本意見を発信する予定	・史跡整備については、文化庁の指導の下、史跡整備委員会で計画を策定する必要がある。
15	整備 (解説板等)	遺跡の全体像を理解できるような解説板が少ないと感じる。東のベンチ付近にも同じものが必要ではないか(H27-1仲谷委員)	未	・将来、史跡整備委員会で本意見を発信する予定	・史跡整備については、文化庁の指導の下、史跡整備委員会で計画を策定する必要がある。
16	整備 (解説板等)	「この先山手中学校です。立ち入り禁止」の看板について、今の場所では、この先の遺跡の見学もできないように受け取ってしまう。文言を変えるか、M地区付近に移設してはどうか(H27-1仲谷委員・H28-2江守委員)	済	・H29.12台風21号の復旧時に除去	
17	整備 (解説板等)	解説板には、視覚的にわかる図や写真等が必要と感じる(H27-1仲谷委員)	未	・将来、史跡整備委員会等で本意見を発信する予定 ・本格的な史跡整備までに、解説板の修理が必要になった場合は設置位置を検討する	・史跡整備については、文化庁の指導の下、史跡整備委員会で計画を策定する必要がある。
18	整備 (遺構等)	F地区住居跡は存在がわかりにくい。遺構を明示する工夫が必要では(H27-1仲谷委員)	未	・将来、史跡整備委員会で本意見を発信する予定	・史跡整備については、文化庁の指導の下、史跡整備委員会で計画を策定する必要がある。
19	整備 (解説板等)	Q地区の祭祀の実態がわかりにくい。マツリゴトを行っているようなイラストが必要では(H27-1仲谷委員)	未	・将来、史跡整備委員会で本意見を発信する予定	・史跡整備については、文化庁の指導の下、史跡整備委員会で計画を策定する必要がある。
20	整備 (解説板等)	解説板を増やした方がいい。同じものを場所を変えて複数設置しても良いと思う(H27-1仲谷委員)	未	・将来、史跡整備委員会で本意見を発信する予定	・史跡整備については、文化庁の指導の下、史跡整備委員会で計画を策定する必要がある。
21	整備 (解説板等)	S地区の解説板は現状よりもっと東側に設置すべき(H27-1野間委員)	未	・将来、史跡整備委員会で本意見を発信する予定 ・本格的な史跡整備までに、解説板の修理が必要になった場合は設置位置を検討する	・史跡整備については、文化庁の指導の下、史跡整備委員会で計画を策定する必要がある。
22	整備 (解説板等)	S地区には展望台にあるような、方位や遠景に見えるものの詳細がわかるような施設があっても良い(H27-1安部委員長)	未	・将来、史跡整備委員会等で本意見を発信する予定	・史跡整備については、文化庁の指導の下、史跡整備委員会で計画を策定する必要がある。
23	アクセス	最寄りの駅が阪急芦屋川駅やJR甲南山手駅というのは遠すぎる。JR甲南山手駅から出ている「どんぐりバス」を活用すると比較的楽に行ける(H26-1江守委員)	済	・市民からの行き方等の問い合わせに対して、どんぐりバスのことも情報提供している	「どんぐりバス」は1時間に2本程度。JR甲南山手駅から森北町に登るルート。

これまでの意見・対応のまとめ

24	アクセス	会下山遺跡は、山手中学校を通るルートが最も見学しやすいと思う(H26-1仲谷委員)	不可	中学校への第三者の立ち入りは、学校の安全上できない。	
25	アクセス	山手中学校の建て替え工事の際、会下山遺跡へのルートを学校から分離できないか(H27-2星野委員)	不可	中学校への第三者の立ち入りは、学校の安全上できない。	
26	アクセス	広報あしや等で会下山遺跡の絵地図のようなものを出してはどうか(H26-1仲谷委員)	未	・今後、本市の観光政策やサイン計画等を踏まえてアクセスルートを決定し、絵地図等で案内したい	・以前、広報あしやに遺跡までのアクセスを示したイラスト地図を掲載した際、近隣住民から数件の苦情があった。
27	アクセス	会下山遺跡の入り口の看板が道路から見えない。又、フェンスにある看板の位置もわかりにくい。見やすい位置に変えた方がいいのでは(H26-1江守委員)	不可	・入口を平成23年度に新しく整備したことによって現在の位置になった。 ・聖苑にセコムや駐車場への車の進入スペースを確保する必要があることも要因。	
28	アクセス	会下山遺跡入口まで、案内板が全くないので道がわからない(H27-1藤川副委員長)	未	・案内の方法について、検討する	
29	アクセス	阪急芦屋川駅等にも、会下山遺跡の地図や案内がない(H27-1藤川副委員長)	未	・今後、本市の観光政策やサイン計画等を踏まえて検討したい	
30	アクセス	三条文化財整理事務所からも、会下山遺跡への行き方がわかる表示がない(H27-1藤川副委員長)	未	・案内の方法について、検討する	
31	アクセス	遺跡入口の案内を、山側のフェンスへ移設してはどうか(H27-1仲谷委員)	未	・案内の位置について、検討する	
32	アクセス	山から下りてきた人のために、三条文化財整理事務所の北側にも案内が必要(H28-2仲谷委員)	検討中	・三条文化財整理事務所・展示室山側の窓に貼り紙で「三条文化財整理事務所」を明示している ・この他、展示室を見学可能であることがわかり、立ち寄りやすくなるような工夫を検討する。	
33	活用	学校教育との連携がなぜうまくいっていないか、理由を調べるべき(H26-1野間委員)	協議中	担当部署と協議中	
34	活用	会下山遺跡について、先生向けの研修の実施を検討してはどうか(H26-1野間委員)	協議中	担当部署と協議中	
35	活用	子ども向けの会下山遺跡見学ツアー等を計画してはどうか(H29-1野間委員)	済	・H28、8「えげのやま博士になろう！」を実施(参加者数17名)。 ・今後も継続して子ども向け事業を企画・実施する予定	
36	活用	三条文化財整理事務所に土器等を触ってもいいコーナーがあってもいいと思う(H27-1安部委員)	済	・三条文化財整理事務所・展示室で、土器片を触ることがができるコーナーを常に設けている。	
37	活用	会下山遺跡を写生大会に使うようなイベントがあってもいいと思う(H27-1藤川副委員長)	検討中	・様々な子ども向け事業を企画し、実施する予定	
38	活用	夏休みの宿題に会下山遺跡をテーマにしたものがあってもいいと思う(H27-1近田委員)	済	・H28、8「えげのやま博士になろう！」を実施。 ・今後も継続して子ども向け事業を企画・実施する予定	
39	活用	市役所の展示ケースの中に会下山遺跡の出土品が常時展示されたい(H27-1仲谷委員)	済	・H29、11市役所北館1階ガラスケースで市内出土品の展示を実施中 ・今後も毎年秋頃、市役所北館1階で展示を企画・実施する	
40	活用	三条文化財整理事務所のことをもっと市民に知ってもらいたい(H27-2星野委員)	済	H28・29に三条文化財整理事務所で企画展示を実施し、広報あしや、HP、チラシ、市内掲示板等で広報した。今後も三条事務所で様々なイベントを企画・実施していく予定	
41	活用	中学校の授業で会下山遺跡を大きく取り上げるのは難しい。小学校で現地に行く方がいいと思う(H27-2大久保委員)	済	・平成29年度は朝日ヶ丘小学校6年児童・山手小学校6年児童が校外学習で会下山遺跡を見学。(別紙参照) ・今後は市内小学校に、校外学習の実施について呼びかけていきたい	小学校3・4年生の授業で使う副読本『私たちのまち芦屋』のまち探検のひとつとして会下山遺跡が紹介されている。
42	活用	会下山遺跡で発掘体験ができないか(H27-2江守委員)	不可	・史跡の保護上、発掘体験の実施はできない ・三条事務所で出土品に触れるイベントなどを実施していきたい	史跡は文化財保護法で保護されているため、発掘体験を行うことは難しい。
43	活用	山手中学校の建て替えに伴い、山手中が校内に会下山遺跡を紹介するコーナーを作れないか(H27-2藤川副委員長)	協議中	担当部署と協議中	
44	活用	会下山遺跡の絵本を増版し、市内小学校に配布できないか(H27-2大久保委員)	不可	・会下山遺跡の絵本は、絵本作家と童話作家の方達で作成されたものであったため、著作権や公金で印刷製本する理由等、整理すべき課題が多く、実施できなかった	
45	活用	公民館等で年に1回は展示・講座等を通して会下山遺跡を紹介し、興味を持つきっかけを継続して作っていく必要がある(H27-2星野委員)	未	・公民館と連携できる場合、実施していく	
46	活用	講演会・勉強会のような三条コミスクが主体の事業で会下山遺跡を活用することができると思う(H27-2江守委員)	未	・今後、三条コミスクはじめ、地域と積極的に連携し、会下山遺跡を活用していきたい	
47	活用	生涯学習課と経済課(現:地域経済振興課)が連携すれば、観光・商業のイベントで会下山遺跡をもっと活用してもらえと思う(H27-2藤川副委員長)	実施中	・地域経済振興課はじめ、関連部署には情報を発信し、積極的に連携を図っていきたい。 ・スマートフォンアプリ「芦屋歩記」で、芦屋を巡るおすすめルートマップとして「会下山遺跡コース」が紹介されている。	

これまでの意見・対応のまとめ

48	活用	遺跡を継承していくためには、シンポジウム等に若い世代に来てもらう努力が必要(H27-2星野委員)	未	・若い世代が興味をもつイベントの開催等について検討する	
49	活用	市内南部の住民はなかなか会下山遺跡に行けないため、図書館のホールなどで会下山遺跡の紹介ができないか(H28-1仲谷委員)	未	・市南部については、美術博物館の展覧会や講演会等で紹介する	
50	活用	山手中学校の校史などに会下山遺跡に関する記述があれば、子どもたちの関心が広がるのではないか(H28-1藤川副委員長)	済	・平成29年度、山手中学校の70周年記念誌で掲載予定	
51	活用	遺跡の見学会と合わせて、山頂で土笛(オカリナなど)を演奏するイベントがあれば、関心が高くなるのではないか(H28-1仲谷委員)	済	H29.11.12オカリナミニコンサートを実施	
52	活用	子ども向けの事業を実施する場合、学校に案内を配布するなど、子どもたちの目に触れる機会が必要(H28-1江守委員)	済	イベントのチラシやポスターを学校に送付している。子ども向け事業を実施する際には、学校でチラシを配布してもらうなど、広報を工夫する	
53	活用	学校教育との連携について、出前授業等で学校へ出向く方法もあるのではないか(H28-2江守委員)	協議中	担当部署と協議中	
54	活用	普及啓発について、キッズスクエアなどを活用する方法もあるのではないか(H28-2江守委員)	済	・H28.4キッズスクエアで市内の出土品を活用した内容を実施済 ・今後も文化財ボランティアに主体となっていただいで継続して実施する予定	